

[2019/8/26]

Dear Friends,

今年は冷夏と言われながら猛暑の日が多かった summer も終わろうとしています。そしてもうすぐ初秋が到来ですね。
初秋を色彩で表すなら、温かく燃えるオレンジ色でしょうか。



そんな秋を迎える前に皆さんにご報告があります！
24日、神戸ハーバーランド松方ホールにて20th Kobe Jazz Vocal Queen Contestが行われました。

私は今回も審査員を務めさせて頂いたのですが、記念すべき20回大会という事で、歴代のグランプリ優勝者達が集まったのオープニングが決まり、なんと初代 Queen としての大役を頂いてしまいました。



ジャズトリオの粋なイントロに合わせてステージ中央まで歩き、“Ladies and Gentlemen, Welcome to”と English でご挨拶。
それから歴代 Queen 達を呼び込んで、Frank Sinatra でも有名な “My Kind of Town” を合唱。

あまりにも急な御役目に一瞬クラッとし

ましたが、実はDJや司会は長年の経験済み！
「いっちゃったるか！」スピリットで無事幕は開きました！

審査員は服部克久先生を代表に、私を入れて4名。

余談ですが、私が20代の時、心齋橋のホテル日航大阪にて行われた Singers Audition を受けた時に審査員長をされていたのが服部先生でした。あまりにもビッグネームの方でいらしたので心の中が躍ったのを覚えています。なんと今は審査員席の私のお隣りにいらっしやるではありませんか♥！！ 人生何があるか分からないのです！

コンテストの出場者は10名。寝るのも惜しみ、疲れも忘れて練習を重ねたヴォーカリスト達の晴れのステージ。。

色んなテイストの衣装に身を包みながら、最高の歌を届けてくれたあとに続くのが私達の講評です。魂を燃やしながら2曲の歌を歌い終えた彼女達への言葉はご褒美でもあり、又次へのモチベーションにもつながるよう。。

心をこめて感想を伝えました。時には優しく、たまにはぴりっとスパイシーに(^_-)！

約150名のエントリーから最終10名が選ばれ、大舞台で歌うチャンスを獲得した今年のファイナリスト達。その中でグランプリ、準グランプリ、そして3位が決定。審査員室では決まった瞬間、全員での拍手がおこるのです。

今年は6回目に開花した
yukino さんが優勝でした。
本当におめでとうございま
す！！

でも私は選ばれなかったファイ
ナリスト達の、最後まで笑顔
でステージに立っていた姿が眩
しかったです。美しかったです！

受賞者達の道のりはこれから！そして今回入賞を逃したヴォーカリスト達は、きっとより輝きを放って帰ってきてくれるでしょう！

あっぱれ！！

私も初代Queenとして、名実ともにまだまだ新境地を開き、チャレンジを続けていこうと、改めて心に誓った一日でした。



Janette